

The logo is a shield-shaped emblem. Inside the shield, there is a stylized lacrosse stick on the left and a lacrosse ball on the right. The shield is light purple and serves as a background for the main title text.

青山学院大学ラクロス部 OB総会

Aoyama Gakuin Univ.
Lacrosse

日時:2017年6月24日(土) 15:00-16:30

会場:青山学院大学 17号館511教室

アジェンダ

＜第一部 OB総会＞ 15:00～16:30(14:30受付)
@17号館17511教室

1. 15:00 OB総会の背景説明 (30分)
2. 15:30 OB会則、OB幹事会、組織説明 (25分)
3. 15:55 決議 (5分)
4. 16:00 自由討議 (30分)

＜第二部 懇親会＞ 16:30～18:30
@レストラン「filoaフィリア」

I . OB総会の背景説明

1. 今回のOB総会の目的

～OB自身による運営・協議・懇親の場～

(従来12月開催の学生主体の年度活動報告会とは別の主旨での初回総会)

- 1) 取り巻く環境と課題の共有・理解
- 2) OB会則に準じたOB会組織(会長、幹事会、各代表)の説明、共有 (第4条、第9条)
- 3) OB会則の説明、共有(青学他部、他大他部と比較し検討)、OB会活動内容の説明、共有 (第15条)
- 4) 決議事項承認(第15条)
- 5) お願い
- 6) 懇親 →今後の方向性意見交換 (意見箱を設置します。)
(5/27代表者会議で、OB会員間の交流-BBQ・飲み会等緩い活動・懇親会-を期待する声が複数有り。今後、幅広い年代で様々な形での活動をして行くきっかけに。)

* 会則第2条 目的:

- ①OB間の交流
- ②現役生との親睦
- ③現役チームの強化と支援
- ④青学体育会OB連合会との連携

1. 今回のOB総会の目的

なぜ今OB会再構築、OB総会開催か？

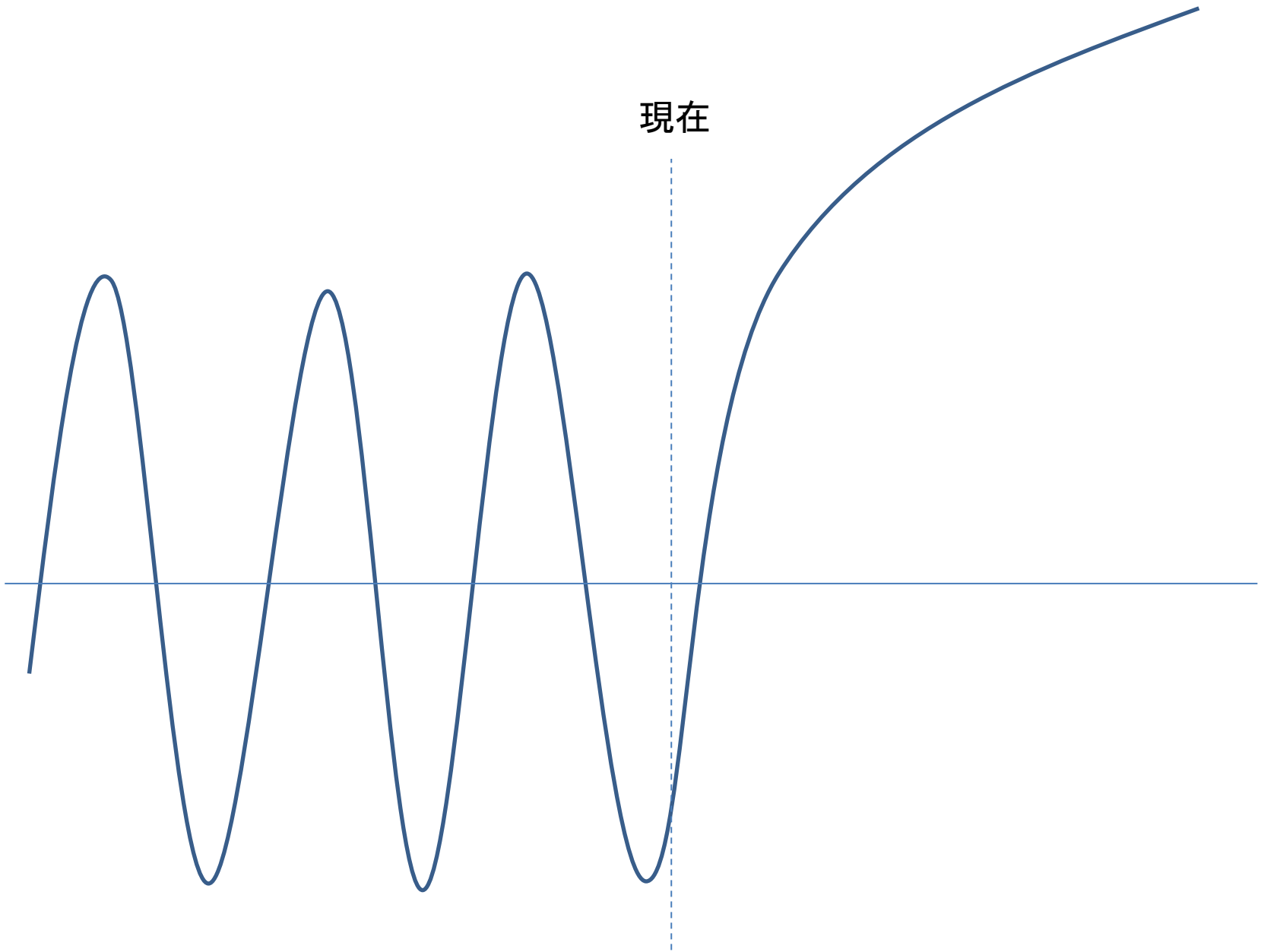
節目（創部30周年、体育会昇格12年）であり、大きな岐路。
→ 「流れを変える」 必要性。

青学ラクロス部を取り巻く環境を他大と比較すると、現役チームだけでは解決できない課題が多くあり、組織としての対応・改善が必要。

今回は、変化への第一歩

→ 今後のより良い活動や方向性への意見交換ができればベター

OBによる多方面でのバックアップが可能な体制の構築
→ OB自身がOB会を盛り上げることで継続的に強いチーム作り



2. 取り巻く環境と課題

1) 青学ラクロス部の現状
部員急増(別紙参照)

2) 課題

- ①グランド (思い通りに使用できるグランドの確保)
- ②コーチ (コーチ確保、コーチ人材の育成、活動経費負担)
- ③資金 (グランド、コーチ、合宿・遠征、備品)

3) OB会の課題

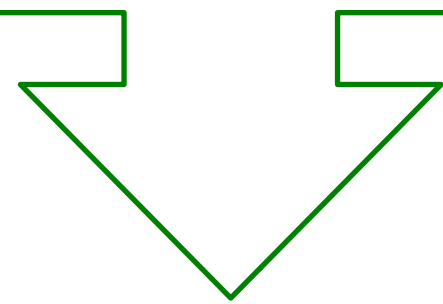
- ①属人的な自主性→組織としての継続性
(OB会の体制整備は体育会昇進時の条件。大学との約束事。)
- ②現役チーム強化サポート(応援、資金、コーチング)
- ③その他学生サポート(就活活動支援)
- ④これらを実現する為の組織体制(OB間の情報発信・共有不足)

<各大学部員数・グラウンド保有状況vs戦績>

	リーグ	学校	部員数	2016 結果	自校G 有無	人工芝G	2017	OB会費
1	1A	早稲田	161	1A 1位	○	○	1部	
2	1B	慶応	157	1B 1位	△		1部	自動引落
3	1B	東京	140	1B 2位	○	○	1部	
4	1B	一橋	130	1B 3位	○		1部	
5	1B	中央	110	1B 5位	○		1部残留	
6	1A	法政	104	1A 5位	△		1部残留	
7	1A	明治	104	1A 3位	△		1部	
8	2B	独協	102	2B 1位	○		1部昇格	
9	2B	立教	100	2B 4位	△		2部	
10	3A	慶応高校	90	3A 1位	?		3部	
11	2B	明治学院	89	2B 2位	○	○	2部	
12	1B	青山学院	87	1B 6位	△		2部降格	
13	3C	学習院	86	3C 1位	○	○	2部昇格	
14	1A	日本体育	82	1A 2位	○		1部	
15	1A	神奈川	80	1A 6位	○		2部降格	
16	3B	東京学芸	80	3B 1位	?		3部	
17	2A	横浜国立	77	2A 5位	?		3部降格	
18	1B	成蹊	73	1B 4位	○	○?	1部	
19	2B	東海	73	2B 3位	○/△		2部	
20	3B	成城	72	3B 2位	?		3部	
21	3C	上智	70	3C 2位	○		2部昇格	
22	2A	武蔵	66	2A 1位	○	○	1部昇格	
23	2A	東洋	61	2A 3位	?		2部	
24	3A	帝京	61	3A 2位	○	○	3部	
25	1A	千葉	60	1A 4位	○		1部	
26	2A	東京農業	57	2A 2位	○		2部	
27	2A	東京理科	56	2A 6位	○		2部残留	
28	2B	国土窟	52	2B 6位	?		2部	
29	2B	筑波	50	2B 5位	○		3部降格	
30	2A	大東文化	46	2A 4位	?		2部	
31	3A	駒沢	46	3A 3位	?		3部	
32	3B	関東学院	41	3B 3位	?		3部	
33	3B	明星	39	3B 4位	○		3部	
34	3C	玉川	39	3C 4位	?		3部	
35	3C	東京経済	38	3C 3位	○	○	3部	
36	3A	日本	34	3A 4位	△?		3部	
37	3B	茨城	32	3B 5位	○?		3部	
38	3C	電気通信	25	3C 6位	△		3部	
39	3A	埼玉	24	3A 5位	○?		3部	
40	3A	専修	24	3A 6位	△?		3部	
41	3C	淑徳	24	3C 5位	?		3部	

Remarks:

- 1) 部員数と戦績の相関は顕著。
- 2) 1部、2部上位校の殆どが自校G有り。
- 3) 今年1部昇格の独協も自校G有り。
武蔵は月-金は同敷地内の高校G使用。土日は、朝霞の人工芝G使用。
- 4) グラウンドに関し、青学に近いのは法政くらいか？自校Gとガス橋G併用。
- 5) 慶応は従来の丸子橋G使用が危うい？
- 6) 東大、一橋は大学院生OBコーチ等の人材豊富。
- 7) 早稲田、中央はOBコーチ長年継続指導。
- 8) 明学は、フルタイムの専属コーチ（日体卒）を体育会補助費用で雇用。



2. 取り巻く環境と課題

さらにその先には、、、？

- 4) 根本論として、上記課題を解決して行くことが現役 チームの強化に繋がるのか？
学生の自身課題・問題あろうが、最低限の体制作り、環境整備はOBとして
やりたいか、できるか？



何はともあれ、まずはOBとして出来ること、最低限の体制作り、
環境整備には取り組みたい。

(他大比較で明らかに目劣りする事は可能な限り改善すべき。)



- ①各代代表会議でも、学生が必要としている事は？OBとして何を
すべきか、ルールや組織の前に根本論を、という意見もあり。

→その様な根本論も認識した上で、正にその根本論を真正面から
見つめ直し、OB会が進化して行く為にも、組織・体制を整備し、具体的な
活動に繋げる事が必要。

- ②今後のOB会としての活動予定については後ほど説明。

2. 取り巻く環境と課題



<青学愛の象徴>

2017年度 ヘッドコーチコーチ

関口 智久

(青山学院大学男子ラクロス部16期)

2002年～2006年 青山学院大学 経営学部 経営学科 卒業

2006年～2008年 フェルブール(クラブチーム)

2009年～2014年 青山学院大学 男子ラクロス部 育成、ヘッドコーチ

2015年～2016年 法政大学 男子ラクロス部アシスタントコーチ

U-20、U-23関東代表コーチ

2017年～ 青山学院大学 男子ラクロス部ヘッドコーチ



<OB会・会員としてのコーチへのサポート>

(短期的) ・試合観戦・応援
・練習参加(アシスタントコーチ)
・活動費(交通費、その他)補助
・グラウンド確保の為の資金援助

(中長期) ・コーチ人員の育成・確保

2. 取り巻く環境と課題

1) 青学ラクロス部の現状(別紙)

① 青学ラクロス部の歴史

<1987年>

『ラクロス愛好会』 創部

<2005年>

『体育会ラクロス同好会』 体育会昇格

<2010年>

『体育会ラクロス部』 正式承認

体育会OB・OG連合会加入

<2017年>

創部30周年

2. 取り巻く環境と課題

1) 青学ラクロス部の現状(別紙)

① 青学ラクロス部の歴史

ラクロス部の過去12年の戦歴(体育会昇格後) 1部4シーズン(ベストリーグ4位)

	年度(卒業代)	男子	女子
同好会	2005年度(16期)	2部リーグ 4位	1部リーグ 6位
	2006年度(17期)	2部リーグ 1位	1部リーグ 4位
	2007年度(18期)	1部リーグ 5位	1部リーグ 5位
	2008年度(19期)	2部リーグ 4位	1部リーグ 4位
	2009年度(20期)	2部リーグ 3位	1部リーグ 6位
部会	2010年度(21期)	2部リーグ 1位	1部リーグ 4位
	2011年度(22期)	1部リーグ 4位	1部リーグ 4位
	2012年度(23期)	1部リーグ 6位	1部リーグ 2位
	2013年度(24期)	2部リーグ 2位	1部リーグ 5位
	2014年度(25期)	2部リーグ 4位	2部リーグ 1位
	2015年度(26期)	2部リーグ 2位	1部リーグ 4位
	2016年度(27期)	1部リーグ 6位	1部リーグ 5位

2. 取り巻く環境と課題

1) 青学ラクロス部の現状(別紙)

②ラクロス部の現在の部員数

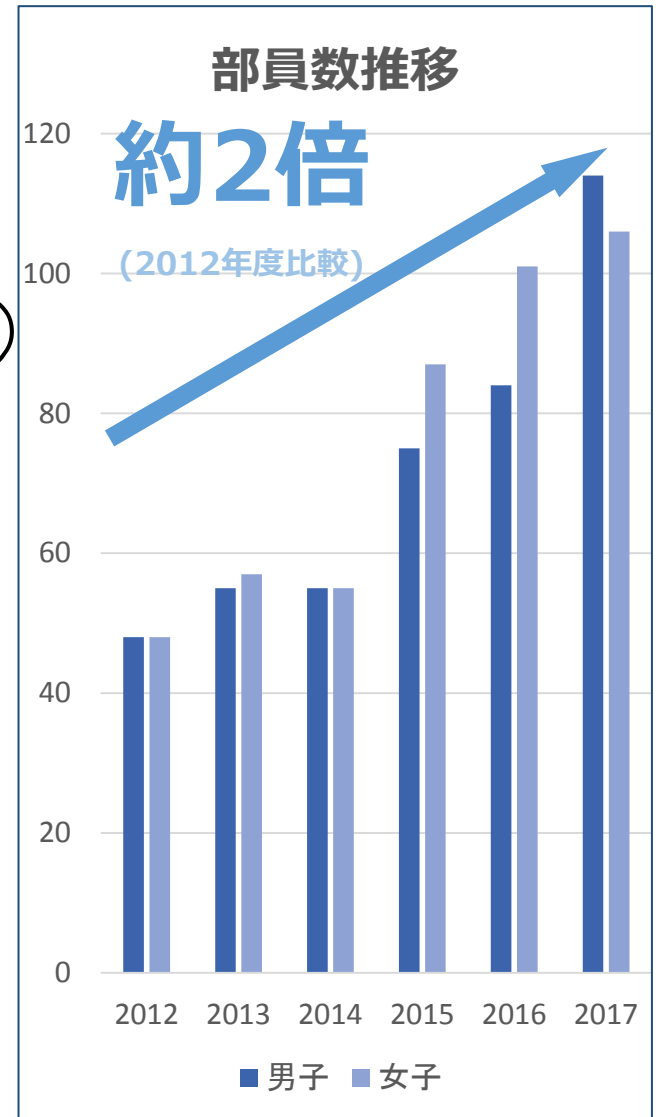
2017年度部員数

男子合計: **114名** (2017年5月6日時点)

- 4年生: 10名
- 3年生: 30名
- 2年生: 25名
- 1年生: 49名 (MG: 17名)

女子合計: 106名 (2017年5月4日時点)

- 4年生: 18名
- 3年生: 33名
- 2年生: 33名
- 1年生: 22名



2. 取り巻く環境と課題

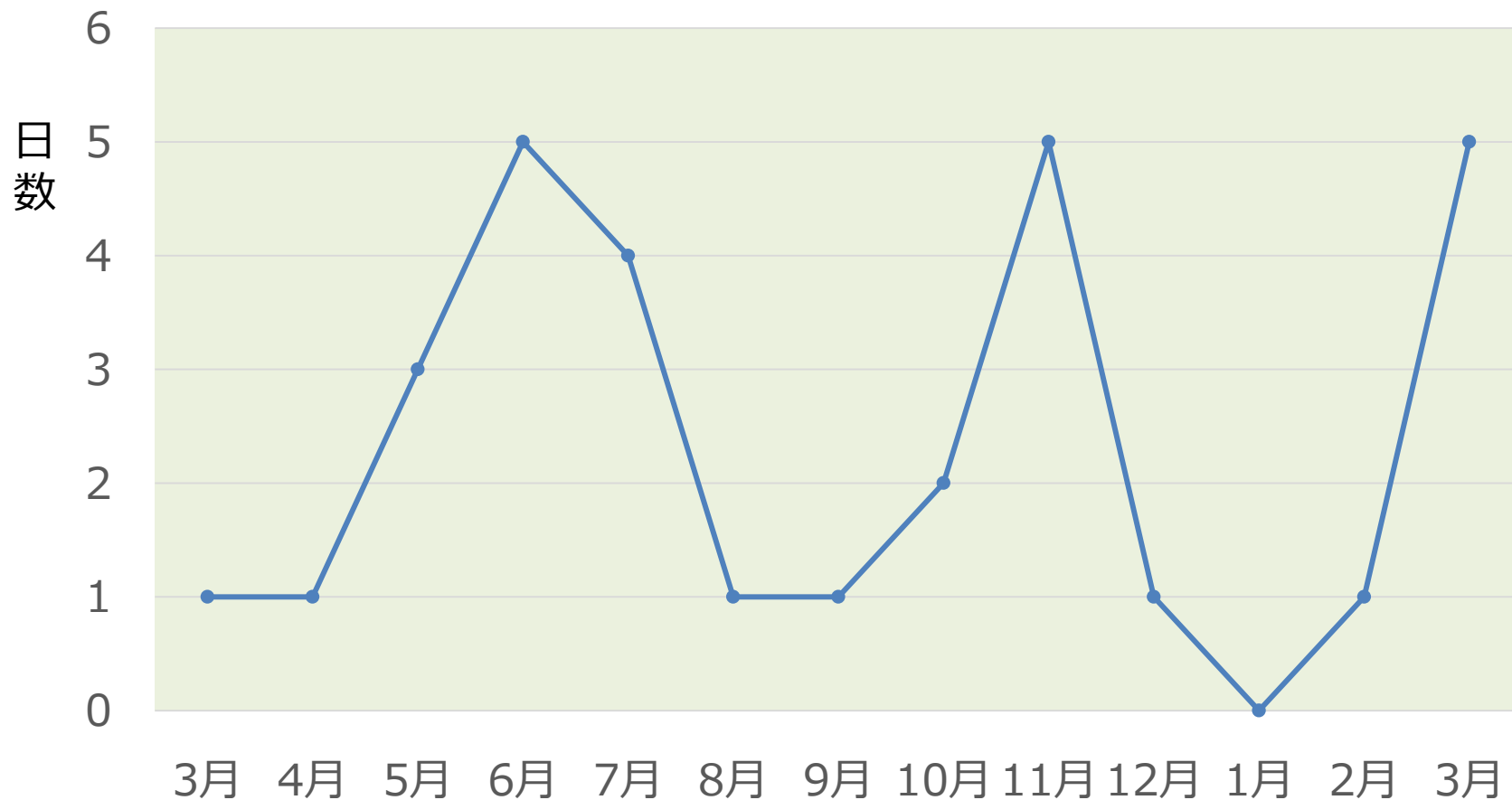
1) 青学ラクロス部の現状(別紙)

③2016年度多摩川グランド禁止日数(雨天使用不可)

*多摩川グランドは、部員に比してスペース・時間の制約あり、十分には機能せず。

*加えて安全性の問題が顕在化。

*6月はリーグ戦前、11月はリーグ戦終盤・入れ替え戦で重要な時期。



2. 取り巻く環境と課題

1) 青学ラクロス部の現状(別紙)

④ グランド月別費用(2015年度・2016年度) → 2016年は急増



2. 取り巻く環境と課題

1) 青学ラクロス部の現状(別紙)

⑤現役部費について(収支・支出)

年度	収入		支出			支出項目備考
2015年度	本校援助金	842,000	グラウンド	501,156	38.6%	人工芝グラウンド利用回数を増加しております。
	学生より徴収	558,500	テーピング	215,319	16.6%	
			リーグ戦参加費	170,000	13.1%	部員増により、増加傾向にございます。
			スポーツリンク	77,290	6.0%	
			その他	506,771	39.1%	
		合計	1,400,500	合計	1,470,536	—
	繰越金	▲ 70,036				

※学生からの徴収について:2015年12月時点の数値。2016年1月に新体制にて部費を徴収

年度	収入		支出			支出項目備考
2014年度	本校援助金	817,800	グラウンド	494,616	38.1%	
	学生より徴収	698,500	テーピング	272,467	21.0%	部員増により増加傾向。
			リーグ戦参加費	130,000	10.0%	リーグ戦参加に際して、ラクロス協会に支払う。
			スポーツリンク	87,164	6.7%	部員増により、増加傾向。
			その他	313,474	24.2%	
		合計	1,516,300	合計	1,297,721	—
	繰越金	218,579				

2. 取り巻く環境と課題

1) 青学ラクロス部の現状(別紙)

⑥大学からの援助金について(他部との比較)

【2015年度体育会予算】

体育会全体予算	一団体平均 ※2
46,455,000	948,061
6,175,000	126,020
52,630,000	1,074,082

<主要団体援助額>

単位・円

	硬式野球	割合 ※1	サッカー	割合	アメフト	割合	陸上	割合	ラクロス	割合
課外活動援助金	2,012,000	4.3%	1,953,000	4.2%	1,856,000	4.0%	1,389,000	3.0%	711,000	1.5%
特別援助金	0	0.0%	516,000	8.4%	8,000	0.1%	0	0.0%	131,000	2.1%
合計	2,012,000		2,469,000		1,864,000		1,389,000		842,000	

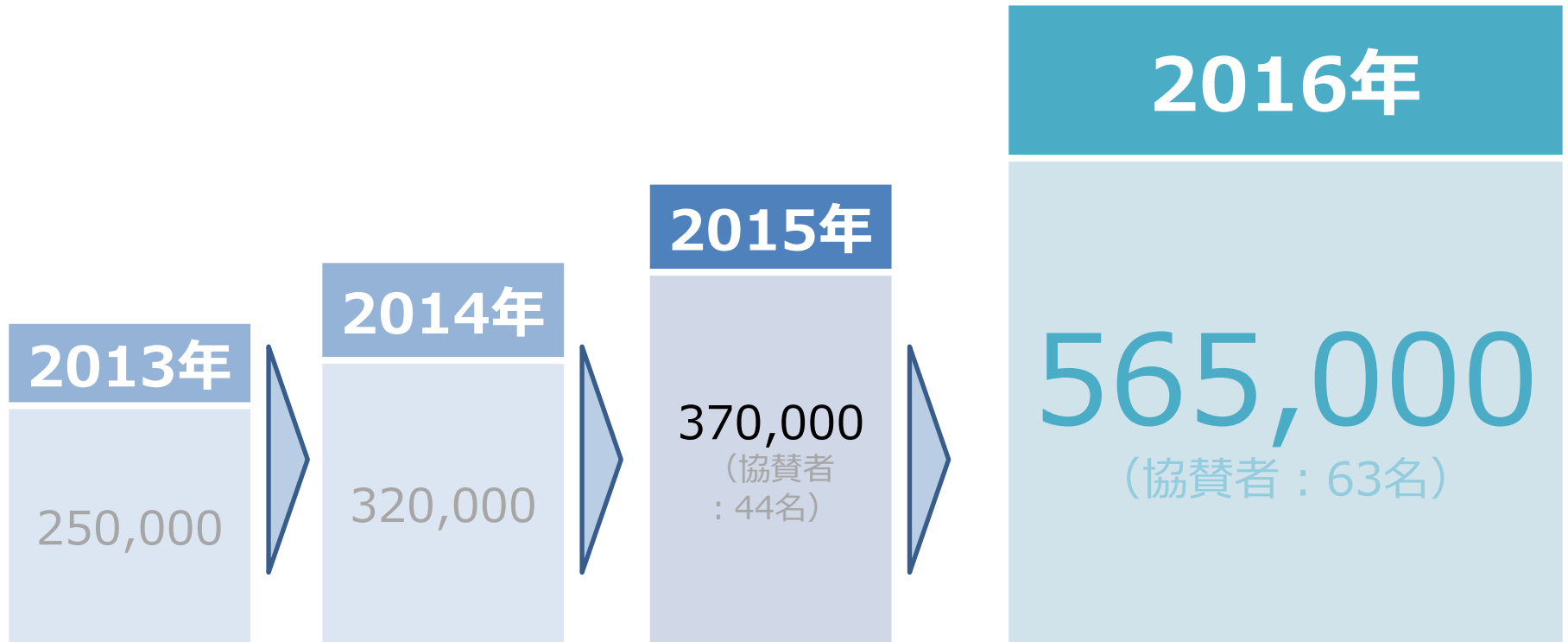
※1 割合…体育会予算全体に対する割合を記載

※2 一団体平均…体育会全体予算÷49団体

2. 取り巻く環境と課題

3) OB会の課題(別紙)

①OB年会費推移(2013年～2016年)



単位：円

2. 取り巻く環境と課題

2) OB会の課題(別紙)

②OB年会費のバラつき(年代別)

* 2016年はObメーリングリストの整備と7月のOB戦効果で増加

【2016年】

OB数	協賛者数
240名	63名

参考)
体育会OB総数
14,286名('16 9月時点)

【2015年】

OB数	協賛者数
228名	44名

	人数	協賛者	割合
1期	7	4	57%
2期	7	3	43%
3期	9	5	56%
4期	12	4	33%
5期	13	4	31%
6期	9	1	11%
7期	12	5	42%
8期	6	1	17%
9期	5	0	0%
10期	3	0	0%
11期	5	2	40%
12期	8	1	13%
13期	11	4	36%
14期	7	2	29%
15期	9	1	11%

	人数	協賛者	割合
16期	14	1	7%
17期	15	2	13%
18期	7	0	0%
19期	12	2	17%
20期	7	0	0%
21期	7	5	71%
22期	10	2	20%
23期	7	1	14%
24期	10	2	20%
25期	16	7	44%
26期	12	4	33%
27期	現役生		
28期			
29期			
30期			

	人数	協賛者	割合
1期	7	2	29%
2期	7	1	14%
3期	9	4	44%
4期	12	2	17%
5期	13	1	8%
6期	9	0	0%
7期	12	2	17%
8期	6	1	17%
9期	5	0	0%
10期	3	0	0%
11期	5	1	20%
12期	8	0	0%
13期	11	2	18%
14期	7	2	29%
15期	9	0	0%

	人数	協賛者	割合
16期	14	2	14%
17期	15	2	13%
18期	7	2	29%
19期	12	1	8%
20期	7	2	29%
21期	7	3	43%
22期	10	1	10%
23期	7	3	43%
24期	10	3	30%
25期	16	7	44%
26期	現役生		
27期			
28期			
29期			
30期			

2. 取り巻く環境と課題

2) OB会の課題(別紙)

③OB会費主要用途

現役関連

- ・グラウンド代
- ・夏合宿景品
- ・備品補助

OB連合会関連費

- ・年会費
- ・各イベント懇親会費

コーチ関連

- ・現役との懇親費用
- ・追いコンプレゼント代
- ・総会MVP/景品代

部長先生

- ・大学主催イベントの懇親費用
- ・懇親費用

2. 取り巻く環境と課題

<これらの環境と課題を踏まえてのお願い>

- 1) 今年度OB会活動に賛同の方は、年会費をお願いします。
(年会費については、会則の17条で規定。)
- 2) 各代代表
会則で規定。5/27に集まってくれたメンバー(+欠席だった三國、渡邊)ということで再確認したい。
(変更ある場合はご連絡下さい。)
今後も同期のとりまとめ、OB総会への参加等々、引き続きご協力をお願いします。
- 3) 幹事会パワーアップ
今後は各委員会という形でメンバーを増やして行きたい。
ご協力頂けるOBは懇親会の間でも、後日別途でも良いのでご連絡をお願いします。
年間は難しくても、期間限定の活動など、大歓迎です。
- 4) コーチへのサポート
上記の通り、応援、資金補助、人材育成等、OB会としても会員としても。

Ⅱ . OB会則、OB幹事会、組織説明

Ⅲ. 決議

<決議事項>

1. OB会長・幹事長・幹事の選任
2. OB会則の設定(初年度)
3. 会計実績・予算、活動実績・計画

<お願い>

1) 今年度OB会活動に賛同の方は、年会費をお願いします。
(年会費については、会則の17条で規定。)

2) 各代代表

会則で規定。5/27に集まってくれたメンバー(+欠席だった三國、渡邊)ということで再確認したい。

(変更ある場合はご連絡下さい。)

今後同期のとりまとめ、OB総会への参加等々、引き続きご協力をお願いします。

3) 幹事会パワーアップ

今後は各委員会という形でメンバーを増やして行きたい。

ご協力頂けるOBは懇親会の間でも、後日別途でも良いのでご連絡をお願いします。

年間は難しくても、期間限定の活動など、大歓迎です。

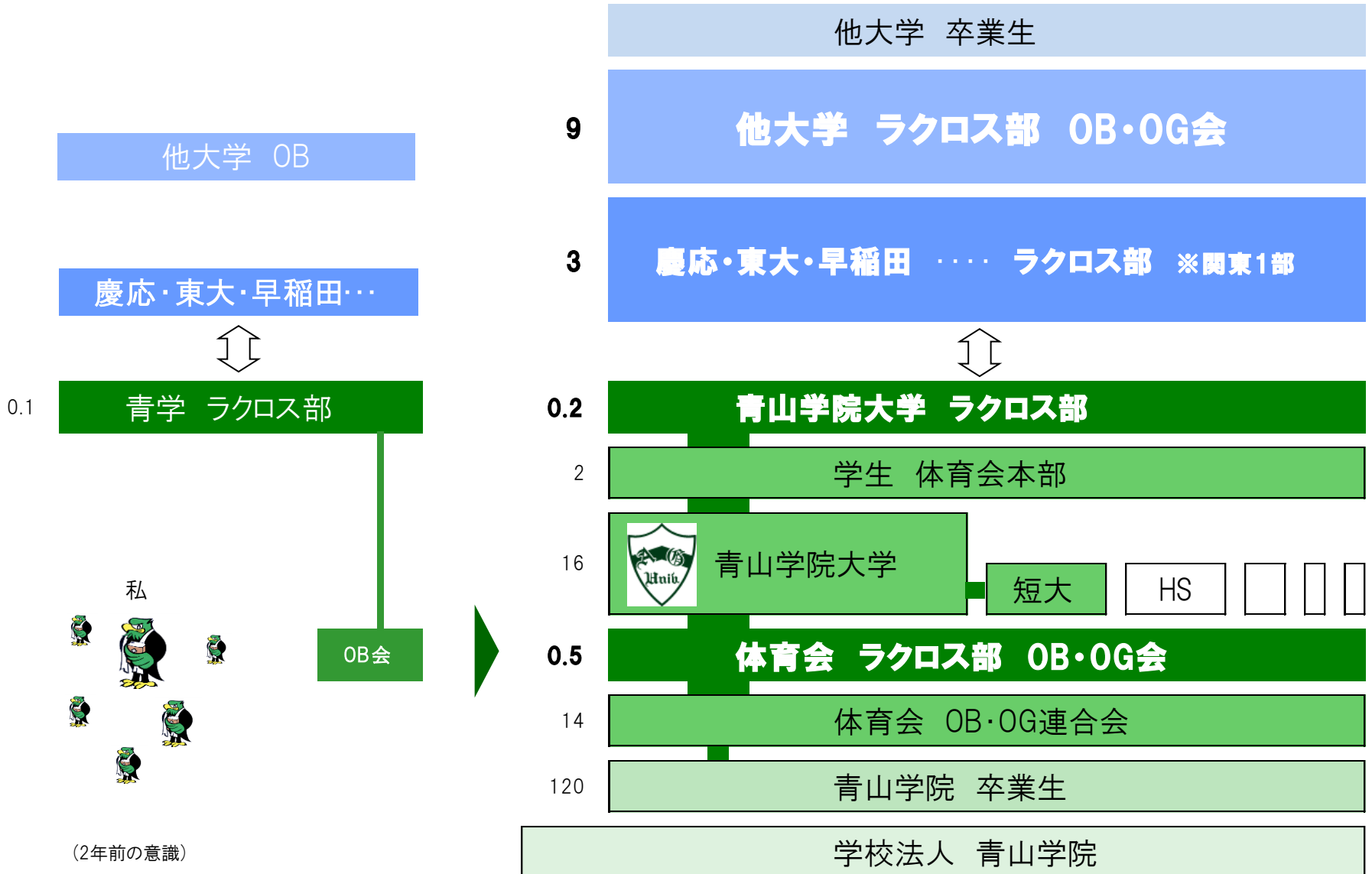
4) コーチへのサポート

上記の通り、応援、資金補助、人材育成等、OB会としても会員としても。

IV. 自由討議

【外部環境】 現役チームは誰と競っているか

(千人) 推



(2年前の意識)